

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6479883号
(P6479883)

(45) 発行日 平成31年3月6日(2019.3.6)

(24) 登録日 平成31年2月15日(2019.2.15)

(51) Int. Cl. F I
E O 2 B 1/00 (2006.01) E O 2 B 1/00 3 O 1 A

請求項の数 5 (全 16 頁)

(21) 出願番号	特願2017-82215 (P2017-82215)	(73) 特許権者	504159235 国立大学法人 熊本大学 熊本県熊本市中央区黒髪二丁目39番1号
(22) 出願日	平成29年4月18日(2017.4.18)	(73) 特許権者	594162308 西日本技術開発株式会社 福岡県福岡市中央区渡辺通一丁目1番1号
(65) 公開番号	特開2017-193954 (P2017-193954A)	(74) 代理人	100099508 弁理士 加藤 久
(43) 公開日	平成29年10月26日(2017.10.26)	(74) 代理人	100182567 弁理士 遠坂 啓太
審査請求日	平成30年2月2日(2018.2.2)	(74) 代理人	100197642 弁理士 南瀬 透
(31) 優先権主張番号	特願2016-83945 (P2016-83945)	(72) 発明者	重石 光弘 熊本県熊本市中央区黒髪二丁目39番1号 国立大学法人熊本大学内
(32) 優先日	平成28年4月19日(2016.4.19)		最終頁に続く
(33) 優先権主張国	日本国(JP)		

(54) 【発明の名称】水生付着生物除去方法および水生付着生物除去装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

構造物に付着する水生付着生物を除去する水生付着生物除去方法であって、
パルスパワーをパルス放電により前記水生付着生物と前記構造物との付着界面の空隙部に作用させることを特徴とする水生付着生物除去方法。

【請求項2】

気中において前記パルスパワーをパルス放電により発生させる一対の電極は、前記水生付着生物または前記構造物に接触させた状態とする請求項1記載の水生付着生物除去方法。

【請求項3】

水中において前記パルスパワーをパルス放電により発生させる一対の電極は、前記構造物から離れた状態とする請求項1記載の水生付着生物除去方法。

【請求項4】

前記一対の電極間の出力電圧は、電極間距離との関係から決定されることを特徴とする請求項2または3に記載の水生付着生物除去方法。

【請求項5】

構造物に付着する水生付着生物を除去する水生付着生物除去装置であって、
パルスパワーをパルス放電により発生させるパルスパワー発生器と、
前記パルスパワーをパルス放電により前記水生付着生物と前記構造物との付着界面の空隙部に作用させるための一対の電極と